



令和3年度



太田小だより



No.13



令和4年 3月24日 発行責任者 校長 富田 義宏



「卒業・修了にあたっての喜びと期待」

校長 富田 義宏

3月18日の卒業証書授与式。未来への夢と希望を胸に、井出葵さん、加藤小雪さん、2名の6年生が本校を巣立っていきました。式に参加する態度や卒業証書を受け取る2人の真剣な顔を見ながら、小学校6年間（私にとっては特にこの1年間）の成長を実感しました。

卒業証書授与式の前日、2人に私のバイブルの一つである「とべバッタ」（作 田島征三）の読み聞かせをしました。

小さなしげみの中で、恐ろしい外敵にびくびくしながら隠れ住んでいた一匹のバッタ。しげみの中の小さな世界で、おびえながら生きていくのがつくづくいやになったバッタは、ある日、しげみの中から飛び出すことを決意するのです。

蛇やカマキリなど恐ろしい外敵に見つかり襲われても、バッタはひるむことなく、体当たりなどして外敵を蹴散らし飛んでいきます。

鳥よりも空に浮かぶ雲よりも高く上り詰めた時、それ以上上ることができなくなったバッタは下へ下へと落ちていきます。地上では落ちてくるバッタをカエルや魚が狙っています。

もうだめかと思った時、バッタは自分の背中についている4枚の羽に気づき、生まれて初めて羽を使うのです。初めて羽を使ったバッタの飛び方をトンボやチョウは「みっともない とび方」と馬鹿にします。

でも バッタは自分の力でとべるのがうれしくて何とも言われても平気です。自分の力で、高く、高く、自分の行きたい方へ風に乘って飛んでいきます。

荒れ地を越え、はるかに飛んでいきます。

読後、二人がこの物語をどのように受け止めたのか聞きました。

葵さん「自分の可能性を信じて飛び続けていく。何と言われようとその可能性に誇りを持って生きていく。」

小雪さん「つらいことや困難があっても乗り越える。自分が持っている力を信じる。」

この2人も4月からは中学生です。今まで学んできたことに自信と誇りを持ち、育てていただいたご家族や周りの方への感謝を忘れず、仲間を思い、自分を信じて、自分を愛して、これからの充実した生活を自ら作り出す努力を積み重ねてくれることを願っています。

さて、24日の修了式をもって今年度の教育活動はすべて終了しました。「あいさつ日本一」にふさわしい挨拶を身に付けた子。自分良いところを自覚し自信が持った子。感謝の気持ちを素直に表現できた子。宿題や家庭学習を毎日頑張ることができた子。見通しをもって計画的に学習を進めることができた子。友だちの発言をよく聞き、自分の考えを深めたり、一緒に考えたりできた子。毎日自分の靴を靴箱の中央に揃えてしまうことができた子。名前を呼ばれたら「はい」と返事をするのが習慣付いた子……。

それぞれの子どもたちが見せてくれた成長の姿に次年度への期を膨らませているところです。

最後になりますが、今年度の教育活動にご理解とご支援をいただきました保護者の皆様、地域の皆様、学校運営協議委員の皆様……本当に多くの皆様に支えられて、学校は子どもの教育活動に力を注ぐことができました。ご支援いただいた皆様に深く感謝いたしますとともに、次年度も変わらないご支援をお願いいたします。

富田の考える次年度の教育活動に係るキーワード

- ・「Improvement of Quality（質の向上）」
- ・「美しい学校・静かな学校・クリーンな学校」
- ・「子どもの成長のためによいと思うことは全員でやる」
- ・「**全員で子どもを見て、『進歩・成長する姿』にこだわる**」
- ・コロナに勝つ ～ 学校のサロン化

次年度経営方針については4月に皆様にお伝えします。

4月行事予定(暫定版)

日	曜	行事	下校バス
1日	金	年度始休業（～6日）	
2日	土		
3日	日		
4日	月		
5日	火		
6日	水	図書館バス 前日登校日（新4～6年）	11:00
7日	木	着任式 始業式 入学式 進級記念作品展	11:30
8日	金	二計測 視力・聴力検査 バス乗車指導 下校指導	①② 15:20
9日	土		
10日	日		
11日	月	代表委員会	①②③
12日	火	ALT 目標発表集会	①②③
13日	水		①②
14日	木	ALT 委員会	①④⑤
15日	金		①②
16日	土	土曜授業 参観日 学級懇談 PTA・少年団総会	11:10
17日	日		
18日	月	全校朝会	①②③
19日	火	ALT 全国学力学習状況調査（6年）	①②③
20日	水	図書館バス	①⑥
21日	木	ALT 委員会	①④⑤
22日	金	代表委員会	①②③
23日	土		
24日	日		
25日	月	1年生を迎える会準備 尿検査（1次）	②③
26日	火	ALT 1年生を迎える会 歯科検診	②③
27日	水	1年生を迎える会后片付け とんでんタイム	②
28日	木	ALT 交通安全教室	②③
29日	金		
30日	土		

スクールバス ①…13:00 ②…14:10 ③…15:10
④…14:00 ⑤…15:30 ⑥…14:20

第130回卒業証書授与式～お祝いと感謝の儀式的行事～

3月18日（金）、厚岸町立太田小学校卒業証書授与式を本校体育館で挙行いたしました。

・できる限り短時間に収める。・座席の間隔を十分にとる。・マスクをして歌う。・窓を開け常時換気する。等、感染症対策を十分にとりつつ、ご来賓のPTA会長よりご祝辞をいただき、みんなで式歌を歌い、呼びかけを行い、卒業をお祝いしました。在校生の子どもたちから「あたたかい雰囲気の良い卒業式でした。」「来年の卒業式での自分のイメージが持てました。」などの感想が聞かれました。最後まで、先輩として後輩のよきお手本でした。卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます！



令和3年度 第130回卒業証書授与式記念写真



退場時保護者へのお礼



小学校最後の下校です

6年生を送る会～児童の自主的な活躍が光る児童会行事～

3月1日と3月3日に6年生送別大会が、そして、3月4日に6年生を送る会がありました。どちらも児童会行事となります。在校生から卒業生へ、遊びを考えたり会場作りをしたり会の運営をしたり出し物をしたり等を通して感謝の気持ちを表しました。低学年からは「ダンス」、中学年からは「クイズ」、高学年からは「応援団」の出し物をしました。それぞれに子どもたちの自主性があらわれており、大変生き生きとした出し物でした。そして、6年生からは、在校生一人一人へお花のプレゼントでのお返しがありました。一人一人に心をこめて手渡ししていました。在校生からも、卒業生からも、どちらも、心のこもったおくり物でした。



1・2年生からYOASOBIの『つばめ』の「ダンス」



3・4年生から太田小学校にまつわる「クイズ」



5年生から『太田リバンジャーズ』による「応援団」



6年生から一人一人へ「お花のプレゼント」

算数パワーアップタイムの成果と課題～学力向上～

12月に行われた厚岸町標準学力検査の結果を受けて課題となっている算数の補強学習としてパワーアップタイムを行ってきました。そして3月、どれだけ力がついたら再度標準学力検査にチャレンジしました。

結果は・・・

12月実施時 全校平均正答率 69.6点

3月実施時 全校平均正答率 83.8点

+14.2点のアップとなりました。

前回の検査で誤答だった問題での正解が増し、弱点の補強を進めることができました。そして、さらに考察を進めると、新たな成果と課題が明らかになってきています。

成果…算数の授業の中で子どもたちが、計算の仕方・理由・考え等を説明するという活動を繰り返し行っていくことで、より深い理解につながる。

課題…基礎的な足し算・引き算・かけ算・わり算の四則計算を正確に早く行うこと。基礎的な計算力のさらなる向上が課題となること。

次年度は、以上の課題を解決していく授業作りや補強の学習を行っていきます。

お世話になりました！！

～転出する職員よりご挨拶いたします～

石井 桃子（鶴居村立下幌呂小学校へ）

この度、鶴居村立下幌呂小学校に異動となりました。太田小学校での6年間、素直で頑張り屋の子ども達と温かく、協力的な保護者の皆様、そして地域の方々のお陰で、多くの学びと宝物ができました。

新任地では、太田での経験を活かし、子ども達の役に立つことができるよう新たな気持ちで頑張ります。6年間、本当にありがとうございました。

計盛 鹿代（釧路町立遠矢小学校へ）

一年前、初めて太田小学校を訪れた時、駐車場の隅に少し雪が残っていました。あれから、もう一年が経とうとしています。

素直で明るく、愛らしい太田小の子どもたちと毎日笑い、保護者の皆さんと語り、地域の方々とともに牛とふれあい、かけがえのない一年を過ごすことができました。皆さんとの日々は、私にとって大切な宝物です。本当にありがとうございました。

鈴木 千春（北海道立厚岸翔洋高等学校へ）

太田小学校へ異動して早いもので2年が過ぎました。赴任して以来、保護者の皆様、地域の皆様はじめ教職員の方々に支えて頂き、また、素直で元気な子ども達にエネルギーを貰いながら過ごした2年間は楽しく、充実した毎日でした。

これからも、子ども達が笑顔で過ごせる太田小学校であることを願っています。お世話になりました。

ハイリスクを避け、安心安全な春休みを

～春休み中も感染症対策をお願いいたします～

- ◎外出するときはマスクを着用しましょう。
- ◎人が集まった場所では換気を徹底しましょう。
- ◎軽くても風邪症状があるときは家で休みましょう。
- ◎「感染の連鎖」をつくらないようにしましょう。